

医療事務の負担軽減 から考える ナレッジ×AI 活用セミナー

レセプトチェック

問い合わせ自動対応

補正予算対応

新人教育

シフト作成

- 設立：2001年7月

富士通(株)のベンチャー起業制度により検索技術を強みとしたソフトウェアプロダクト開発企業として創業

- ミッション：「お客様の事業をアクセラレート（加速）

企業の業務をナレッジ×AI®の取組みでより良くする
ご支援をITシステムとサービスの両面から提供

- 代表：代表取締役社長 進藤達也 博士（情報科学）

- 商品・サービス：

SolutionDesk ナレッジマネジメントに基づく業務DXソリューション

K-Board ナレッジボード（ナレッジ創出IT）

BizAntenna 多言語ナレッジベース（自動翻訳連携）

TanQlo エンタープライズサーチ（オンプレミス製品）

BizSearch ASPサイト検索 ホームページのサイト内検索

2026年2月：「医療分野における業務効率化・職場環境改善支援事業」の実施要綱通知

医療事務の負担は、業務量の多さだけでなく
「確認しないと進められない仕事」の多さにあり

- ・ 制度、ルール、過去対応の確認が多い
- ・ 正確さが求められ、属人化しやすい



単純な省力化ではなく
確認・教育・説明等
「知識を扱うプロセス」をどう支えるかが重要



負担が集中しやすい業務とは

1.確認する

制度、通知、院内ルール、レセプト関連



2.対応する

問い合わせ、電話、窓口、メール



3.作成する

案内文、説明文、申請書類、帳票、勤務シフト

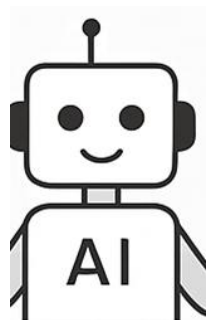


4.教える

新人教育、引継ぎ、判断観点の共有



AIは「代行者」ではなく「支援役」



AIが得意なこと

- ・ 探す
- ・ 整理する
- ・ たたき台を作る



人が担うこと

- ・ 現場状況に合わせた判断
- ・ 最終的な確定と責任

- ・ 院内運用規定
- ・ 算定ルール
- ・ 点数表
- ・ 公費・助成金マニュアル
- ・ 行政通知
- ・ 対応履歴

ナレッジベース

- ・ 各種申請書
- ・ 応対マニュアル
- ・ FAQ
- ・ 機器マニュアル
- ・ 通達

AIの効果を最大化するのは、現場のナレッジ

活用例1:補正予算対応支援



膨大な通知資料の読み込みと申請書作成の工数を大幅削減

AIに担ってもらうこと
膨大な資料を読み込み対象施策を選定、申請書・提案書の下書き作成

補正予算

目次

I. 「医療・介護等支援パッケージ」

○「医療・介護等支援パッケージ」(医療分野)

○医療機関・薬局における賃上げ・物価上昇に対する支援

○施設整備の促進に対する支援

○福祉医療機構による優遇融資等の実施

○生産性向上に対する支援

○病床数の適正化に対する支援

○出生数・患者数の減少等を踏まえた産科・小児科への支援

○「医療・介護等支援パッケージ」(介護分野)

○介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善に対する支援

○介護事業所・施設のサービス継続に対する支援

○介護テクノロジー導入・協働化・経営改善等に対する支援

○訪問介護・ケアマネジメントの提供体制確保に対する支援

○「医療介護等支援パッケージ」(障害福祉分野)

○障害福祉分野における賃上げ・テクノロジー導入等に対する支援

○福祉医療機構による優遇融資の実施、社会福祉法人の連携・協働の推進

○医療・介護分野等へのマッチング支援の強化のためのハローワークの体制整備

II. 物価上昇を上回る賃上げの普及・定着に向けた支援等

○最低賃金引上げに対応した業務改善助成金による中小企業等の賃上げ支援

○生活衛生関係事業者の物価高騰への対応に向けた価格転嫁の取組支援等

○非正規雇用労働者等が働きながら学びやすい職業訓練の実施

III. 医療・介護の確保、DXの推進、「攻めの予防医療」の推進等

○医師補完正に向けたリカレント教育の実施や医師のマッチングへの支援等

○特定行為研修修了者の養成・ナースセンターの活用等による看護師確保の推進

○ドクターヘリの運航維持、国民保護事業発生時等における救急・災害医療体制の確保

○周産期医療の連携体制、希望に応じて安全な無痛分娩が選択できる体制の構築

○介護支援専門員の確保、資質向上や介護人材の確保・育成、定着に向けた取組支援

○マイナ保険証の利用促進に向けた取組

○全国医療情報プラットフォームにおける、電子カルテ情報共有サービス、電子処方箋、公費負担医療制度等のオンライン資格確認、予防接種のデジタル化等の推進

○診療報酬改定DXの取組の推進

○自治体検診における医療機関等との連携の推進

○医療安全の向上・物流DXの推進に資する医薬品・医療機器等製品データベース構築

○医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の強化

○総合的かつ効率的な審査支払機能の運用に向けた国保総合システムの改修

○介護情報基盤の整備や介護テクノロジー開発企業等への支援等に向けた取組の強化

○生涯を通じた歯科健診を行う環境整備の推進

○科学的根拠に基づくがん検診の受診率向上に向けた取組の推進

○女性の健康総合センターを中心とした女性特有の健康課題への対応の推進

○車道のある移転施設への支援等による移転医療対策の推進

IV. 創薬力強化に向けたイノベーションの推進、医薬品等の安定供給確保や品質・安全性の確保等

○革新的医薬品等

○後発医薬品製造

○設備投資等の支援

○医薬品卸業者の

○ファースト・イ

○再生医療等の

○がん・難病の

○革新的医療機器

○AIを活用した

○臨床研究の中核

○抗がん剤や人工

○海外依存度の

○バイオ後続品の

○血漿分画製剤の

○薬剤師等を活用

V. 次なる感染症

○国立健康危機

○フレバンデミ

○CBRNEテロ

○関係国際機関等

の推進

VI. 包摂的な地域

○自治体の認知

○生活困窮者等

○平成25年から

○ケースワーカー

○成年後見制度

○地域との連携

○シルバー人材

○自殺対策の強化

○地域における

○災害からの復旧

○DWAの養成等

○B型肝炎訴訟

【○「医療・介護等支援パッケージ」(医療分野)】

施策名:医療・介護等支援パッケージ(医療分野)

令和7年度補正予算案 10,368億円

① 施策の目的

○経済状況の変化等に対応するため、救急医療を担うといった医療機能の特性も踏まえつつ、診療に必要な経費に係る物価上昇への的確な対応や、物価を上回る賃上げの実現に向けた支援を行う。

○また、現下の物価上昇を含む経済状況の変化により、地域医療構想の推進のための施設整備等が困難な医療機関に対する支援を実施する。

○さらに、物価上昇の影響を受けた医療機関の資金繰りを的確に支援するため、(独)福祉医療機構による優遇融資等を着実に実施する。

○賃上げを下支えし、人手不足にも対応するため、業務効率化・職場環境改善に資するICT機器等の導入・活用などの生産性向上に率先して取り組む医療機関を支援する。

○病床数の適正化を進める医療機関に対しては、医療機関の連携・再編・集約化に向けた取り組みを加速する観点から、地域の医療ニーズを踏まえ必要な支援を実施する。

○出生数減少等の影響を受けている産科施設や小児医療の拠点となる施設への支援も実施する。

② 対策の柱との関係

I			II				III		
1	2	3	1	2	3	4	5	1	2
○									

③ 施策の概要

ア 賃上げ・物価上昇に対する支援【5,341億円(賃上げ1,536億円・物価上昇3,805億円)】

イ 施設整備の促進に対する支援【462億円】

ウ (独)福祉医療機構による優遇融資等の実施【804億円(優遇融資を行うための(独)福祉医療機構の財政基盤安定化等・資本性劣後ローンの融資財源)】
※ 別途、優遇融資の融資財源は財政要求を行う

エ 医療分野における生産性向上に対する支援【200億円】

オ 病床数の適正化に対する支援【3,490億円】

カ 出生数・患者数の減少等を踏まえた産科・小児科への支援【72億円】

④ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

医療従事者の賃上げ支援を実施することや物価上昇局面においても医療サービスを円滑に実施するための支援等を行うことで、地域に必要な医療提供体制を確保する。

【計数整理の結果、異同を生ずることがある。】

2

©Accela Technology Corp.

病院概要

病床数：○床

職員数：医師○名、看護師○名

救急搬送受入：年間○件

救急指定：二次救急病院

今後の計画

- ・ 病床数の削減
- ・ 設備改修工事
- ・ 電子カルテのスマートフォン利用
- ・ 生成AI・RPAの導入

活用例1:補正予算対応支援

■適用される施策名

施設整備促進支援事業（医療・介護等支援パッケージ）

■ページ 6

■施策の内容

医療提供体制施設整備交付金等の対象となる新築・増改築に対し、建築資材高騰分等を補助。

（交付額＝「市場価格－補助事業単価」×国負担分相当）

スキーム

■適用理由

病院で「調

■適用される施策名

医療分野における生産性向上に対する支援

■ページ 9

■施策の内容

病院ごと上限1億円で、業務効率化・職場環境改善に資するICT機器等の導入・活用 を補助。補助率は4/5（国・都道府県経由）。

取組要件として、病院内に「業務効率化推進委員会（仮称）」を設置し、目標値設 定・進捗管理を実施。

具体例：スマートフォンによるカルテ閲覧・情報共有、インカム、IWB等の導入（情報伝達の効率化）。

医療勤務環境改善センターによるサポート体制強化も併せ て実施。

申請・交付の流れ：医療機関→都道府県→国（補助率4/5、概ね3年後に実績報 告）。

■適用理由

当院は「電子カルテのスマートフォン利用」「生成AI・RPAの導入」を検討中であり、

施策の対象例（スマホでのカルテ閲覧・情報共有、インカム、IWB 等）と高い整合。

病院規模（○床）と三次救急の業務量を踏まえると、上限1億円までの投資計画を組みやすく、

院内の「業務効率化推進委員会」を設置してKPI（例：病棟間連 絡の平均応答時間、救急初療？

指示出しリードタイム、看護記録の二重転記削減率 等）を置くことで要件を満たしやすい。

RPA/生成AIの導入に伴う業務プロセス見直しや、スマホ閲覧・院内無線LAN整備・ インカム/ナースコール連携

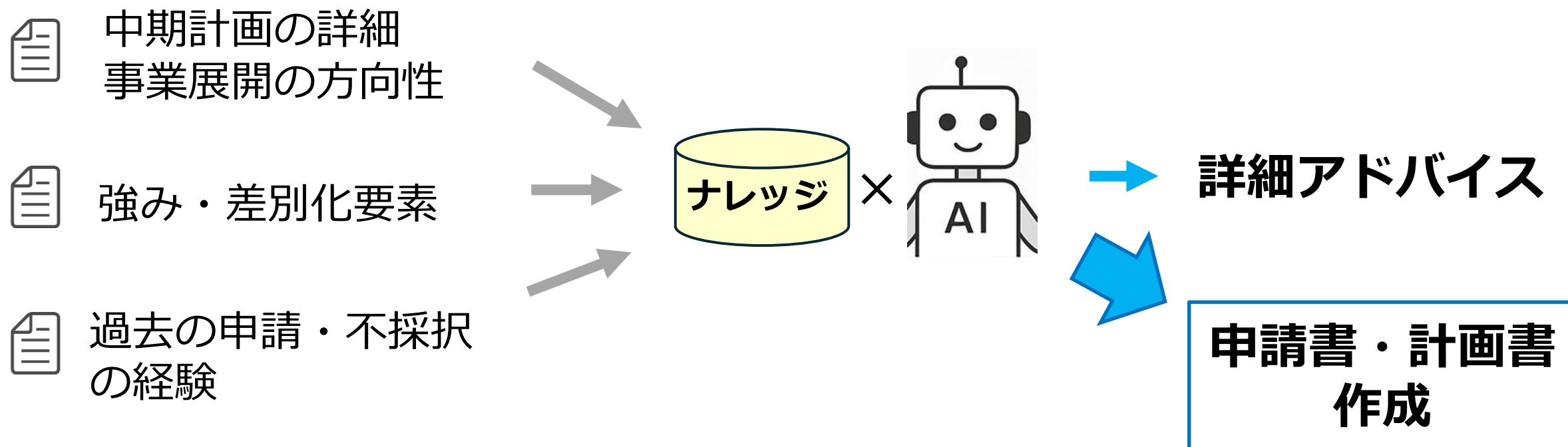
・IWB（情報ボード）刷新など、「現場の時短」と「ヒューマンエラー低減」に直結する装備を一体で申請可能。

あわせて検討したい関連施策（相乗効果）

医療情報システムのクラウド化に伴う検討事業（次世代HIS標準仕様対応・クラウド 移行、コード・マスタ標準化、

クラウド間連携の先行実証等。①標準仕様に即した 電子カルテ導入・連携の経費補助）page_no: 60

ナレッジ×AI



自院ならではの提案をAIがまとめる

活用例2:レセプトチェック

レセプトミスをAIが事前点検！ 返戻リスクを減らし収益の取りこぼしも防ぎます

AIに担ってもらうこと
毎月の申請前に診療報酬データを「ナレッジ」元に網羅チェック

AIへのプロンプト：レセプトチェックし修正案提示

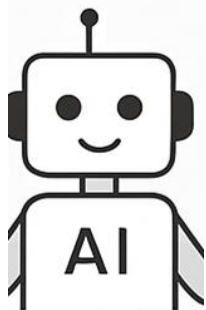
最新の診療報酬点数表(厚労省告示)

疑義解釈・チェック観点
返戻リスクの高い記載不備、併算定制限、
記載ルール
(よくある返戻理由／注意コード)

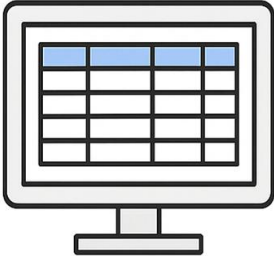
算定漏れ防止観点
疾患・行為に対応した「本来請求可能な点数」の
パターン疾患別チェックマスタ（病名 → 想定される加算／指導／検査例）



×



医事会計システム



ORCA（日本医師会
標準レセプトコン
ピューター）など

ファイル	AI点検での役割
conduct.csv	診療行為の記録。点数の過不足 や妥当性をチェックする主対象
disease.csv	病名と行為の整合性チェックに必須。 主病名要件や適応病名の確認
rezept.csv	レセプト単位の構成を確認。 薬剤の添付や異常点数の発見に有用

月ごとの診療報酬データ（CSV）

活用例2:レセプトチェック



AIレセプトヘルパー

入力（質問・チェック・返戻）

レセプトQ&A（改定ナビ含む）

料金カテゴリ（必須）

初診料・再診料

質問（自由記述）

質問する

レセプトチェック

conductファイルURL

例) https://solutiondesk.jp/share/accela-

diseaseファイルURL

例) https://solutiondesk.jp/share/accela-

medicationファイルURL

例) https://solutiondesk.jp/share/accela-

チェック実行

回答・結果

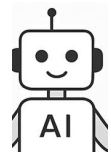
サマリー

チェック観点（全10項目）に対し、満たしている=4、未達=2、要確認=2、チェック対象外=2。未達の主因は(1)病名と行為の整合性：RAST検査実施に対して適応病名（例：アレルギー性鼻炎）がdisease.csvに無い患者が存在、(2)行為コードの入力ミス：同一行為コードで点数が複数パターン存在。要確認は慢性疾患（高血圧）で管理料・定期検査の未算定可能性、季節性疾患（インフル）で処方内容の整合性不備点。

チェック観点	判定	判定対象データ（ファイル名のみ）	NGデータのID	判定NGの根拠
病名と行為の整合性	未達	conduct.csv disease.csv	10件（表示）	観点ナレッジのルール内容「診療行為に対応する適応病名が登録されているが確認（例：RAST検査－アレルギー性鼻炎）」に基づく。RAST検査（200005510）を実施しているD3000は病名が慢性性便秘（K59）、D3008は皮膚の発疹（R21）であり、適応病名の登録がdisease.csv上で確認できないため不整合。加えて、HbA1c（170100210）を実施している患者のうち、disease.csvで糖尿病（E11）が確認できるのはD3001のみで、D3000/D3003/D3006/D3013/D3016/D3017は適応病名不足の疑いがあるため。
主病名の必要性	満たしている	disease.csv conduct.csv	0件	観点ナレッジのルール内容「特定疾患療費管理料など、主病名が必要な行為で主病名が登録されているが確認」に基づく。特定疾患療費管理料（114007110）を算定しているD3001/D3008/D3018はいずれも、disease.csvで主病名フラグ=1の病名が登録されているため。
外来管理加算の要件	チェック対象外	conduct.csv	0件	観点ナレッジの対象データは「conduct.csv / 診療録」だが、conduct.csv内に外来管理加算に該当する算定行為が存在しないため。
同日併算定不可	満たしている	conduct.csv	0件	観点ナレッジのルール内容「初診料と再診料、手術と処置など、同日に算定できない行為が重複していないが確認」に基づく。conduct.csvを同一患者ID×同一実施日で確認したが、初診料の算定自体がなく、同日併算定不可の典型的な重複パターンが確認できないため。

結果を表示

活用例2:レセプトチェック



返戻リスクのあるレセプト項目（5件）

✦ 患者番号：10102

診療日：2025-03-05

行為：アレルギー検査（RAST）（行為コード：200005510）

指摘内容：RAST検査が算定されていますが、病名にアレルギー性疾患が確認できません。

修正提案：病名に「花粉症」や「アレルギー性鼻炎」などを追加してください。

✦ 患者番号：10178

診療日：2025-03-10

行為：特定疾患療養管理料（行為コード：114007110）

指摘内容：主病名の登録がなく、特定疾患管理料の算定要件を満たしていません。

修正提案：該当する慢性疾患を主病名として設定してください。

✦ 患者番号：10214

診療日：2025-03-14

行為：CRP定量（行為コード：200001910）

指摘内容：CRP検査が算定されていますが、感染症などの根拠病名が確認できません。

修正提案：「感冒」などの急性疾患名を病名に追加してください。

✦ 患者番号：10321

診療日：2025-03-22

行為：再診料（行為コード：110000110）

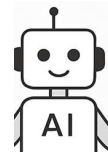
指摘内容：外来管理加算が再診と同時に算定されていますが、15分以上の計画的な指導があった記録が不十分です。

修正提案：加算要件を再確認のうえ、満たしていなければ削除してください。

✦ 患者番号：10378

診療日：2025-03-27

行為：処方せん料（行為コード：210000310）



算定漏れの可能性があるレセプト項目（2件）

✦ 患者番号：10110

診療日：2025-03-09 想定される行為：アレルギー検査（RAST）（行為コード：200005510）

指摘内容：花粉症の病名が記録されていますが、RAST検査が算定されていません。

修正提案：RAST検査を追加してください。

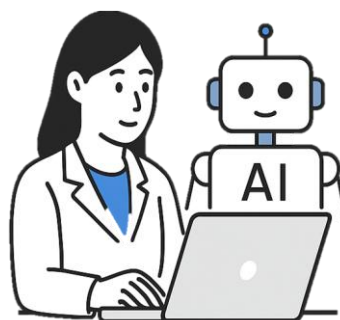
理由：アレルギー性鼻炎ではRAST検査が診療上妥当であり、請求が可能です。

✦ 患者番号：10188 診療日：2025-03-18

想定される行為：内服薬（1剤）（行為コード：140001110）

指摘内容：処方が行われた形跡（処方コメント）はあるが、内服薬の点数が未記載です。修正提案：対応する内服薬の行為コードを追加してください。

理由：処方せんが発行されている場合、薬剤ごとの行為コード算定が必要です。



AIを頼りにしながらも、最終確認と
医事会計システムへの反映は
担当者が行う運用を推奨します。

活用例2:レセプトチェック



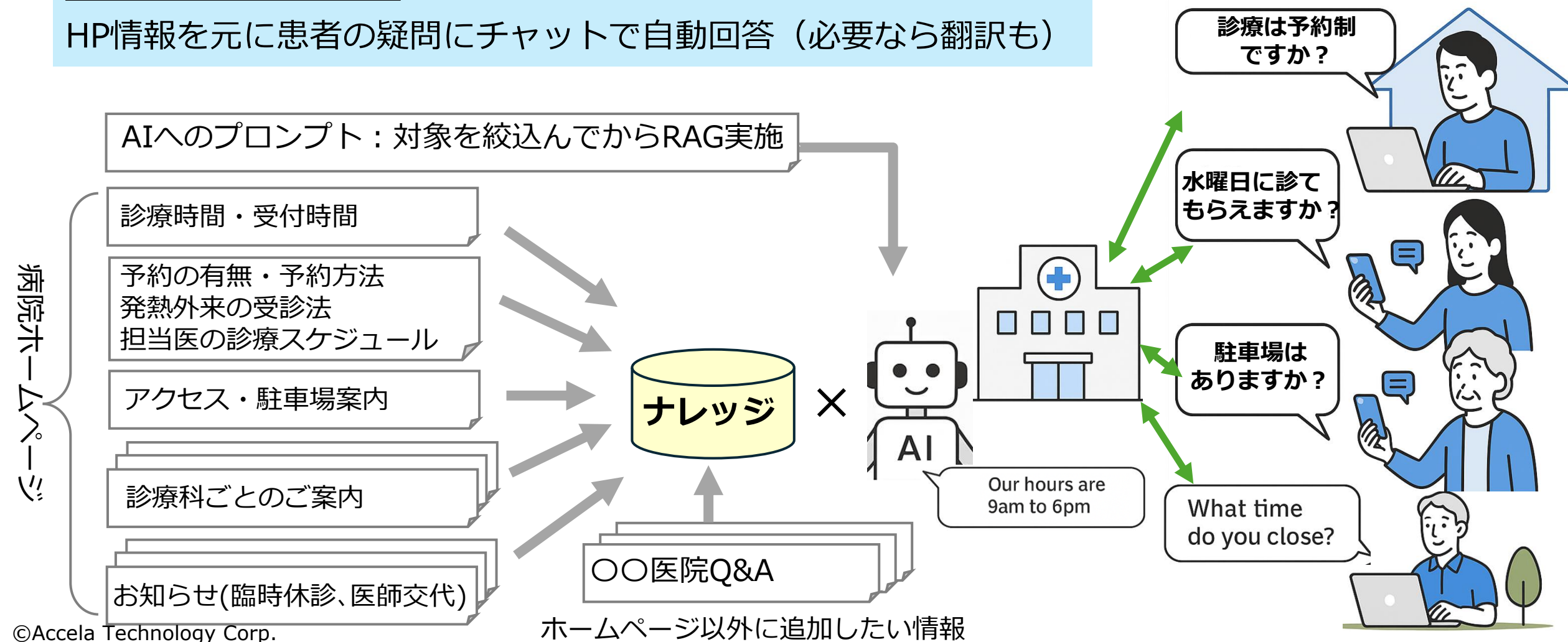
観点	従来のAI (機械学習・ルールベース)	生成AI (GPT・LLMベース)
チェック範囲	コードの妥当性や回数制限など、 定義済みルールのみ	CSVデータ内の病名と診療行為の意味的な整合性 や、一般的なカルテ記載の内容に基づく不一致パ ターンにも対応可能
柔軟性	新しい診療報酬改定や 病名コード追加時に都度修正が必要	ナレッジやプロンプトの更新だけで即対応可能
説明性	単なるエラーフラグやルール番号のみ提示	自然言語で理由や改善提案を説明 → スタッフが納得しやすい (教育効果)
異常検出の粒度	単純な閾値判定やルール照合が中心	構文エラー + 意味不整合 (文脈ミス) も拾える (例: 慢性疾患に検査が未実施)
対応力の広さ	医療用語や帳票仕様への特化が必要 (領域ごとにモデル)	診療知識 + 医療事務 + 言語処理を統合 → 汎用的に使える
導入と運用の しやすさ	精度向上には大量のラベル付き 学習データが必要	学習不要、ルールやナレッジ追加だけで即改善で きる

活用例3:問い合わせ対応自動化

AIチャットボットで電話問い合わせ対応を削減！

AIに担ってもらうこと

HP情報を元に患者の疑問にチャットで自動回答（必要なら翻訳も）

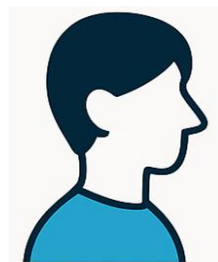


活用例3:問い合わせ対応自動化

病院の伝えたいと患者様の知りたいをAIがマッチング
—ナレッジロボ: “WebRAG”方式チャットボット—

導入効果

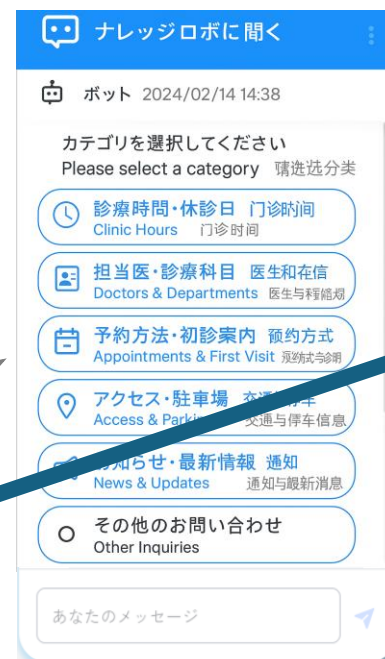
- 🗨️ 患者様満足と医療事務員の負荷&残業削減の両立
- 🕒 学習やスクリプト作成が不要 (自動更新→保守工数0)
- 🔄 PDFも自動で対象に含められる(根拠ページ明示)
- 🌐 日本語以外の言語圏の患者様も対応可能 (AIが自動翻訳)



患者

40度以上の熱があります。
すぐ診てもらえますか。

発熱外来として受付します。
昼までに専用受付にお出
でください。
<http://www.abc.de/fgh/ijk.html>



ナレッジロボに聞く

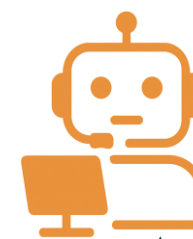
🤖 ボット 2024/02/14 14:38

カテゴリを選択してください
Please select a category 请选择分类

- 🕒 診療時間・休診日 门诊时间
Clinic Hours 门诊时间
- 👨 担当医・診療科目 医生和在信
Doctors & Departments 医生与科室
- 📅 予約方法・初診案内 预约方式
Appointments & First Visit 预约与初诊
- 📍 アクセス・駐車場 交通与停车
Access & Parking 交通与停车信息
- 📰 お知らせ・最新情報 通知
News & Updates 通知与最新消息
- 🗨️ その他のお問い合わせ
Other Inquiries

あなたのメッセージ

Web RAG



病院ホームページ



追加したいナレッジ





EBISU ACCELA HOSPITAL

診療内容

当院のご案内

アクセス

お問い合わせ



Ebisu Accela Hospital



AIチャット(AI Chat、AI聊天、AI 채팅)



その他病院情報(Hospital information etc., 병원 정보 외, 医院信息等)



EbisuBot 2025/08/12 17:40

質問を入力してください。

2025/08/12 17:48

小児科の加藤先生の担当日は？



EbisuBot 2025/08/12 17:49

小児科の加藤先生の担当日は月曜、水曜、金曜日です。なお、今月から金曜日の担当医師は加藤美穂医師から伊藤亮医師に変更されました。

最新の情報は以下のリンクからご確認ください：

- [診療科別 曜日ごとの担当医シフト表](#)
- [お知らせ（急な休診・シフト変更・診療時間変更の案内）](#)



EbisuBot 2025/08/12 17:49

問題は解決しましたか？

はい

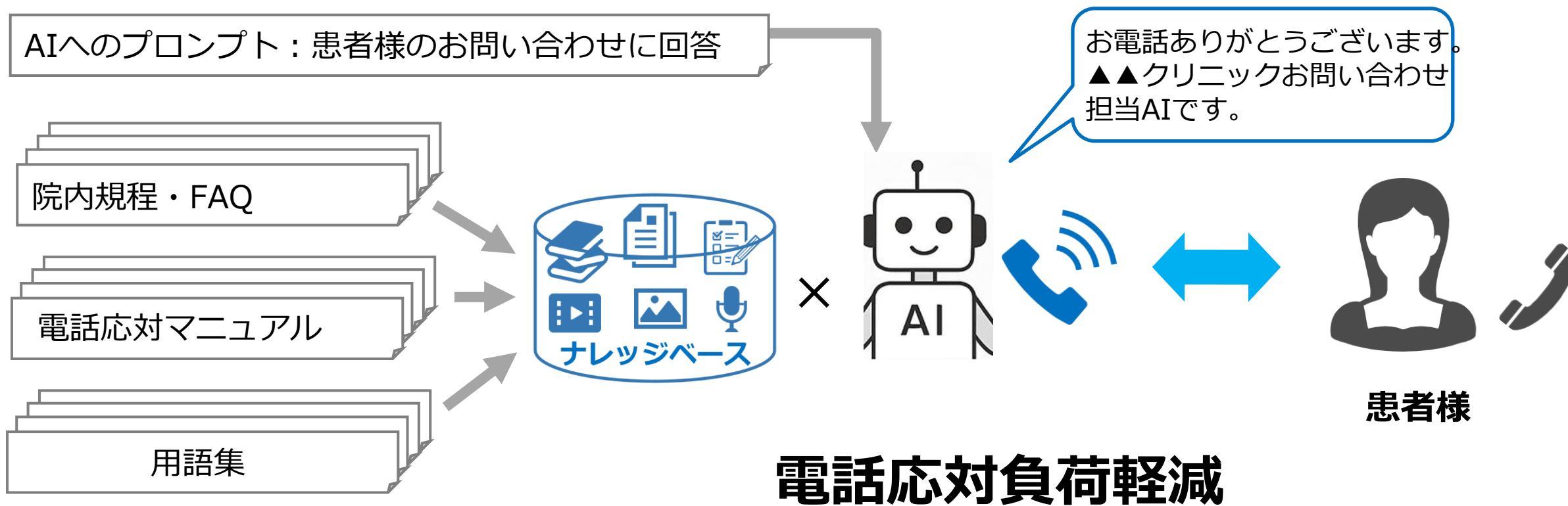
いいえ

※別の言い回しで再度質問することもできます。

話し言葉で質問できます



AI音声ナレッジをもとに患者様の電話問い合わせに自動応対



勤務シフト表の自動生成&更新



看護師



Yさん

決定シフト確認

シフト希望提出

対象年月:

ユーザーID:

日	月	火	水	木	金	土
		1 長日勤	2 休日	3 長日勤	4 休日	5 休日
6 夜勤	7 明	8 休日	9 日勤	10 日勤	11 長日勤	12 休日
13 休日	14 日勤	15 日勤	16 長日勤	17 休日	18 日勤	19 夜勤
20 明	21 休日	22 日勤	23 日勤	24 日勤	25 夜勤	26 明
27 休日	28 長日勤	29 夜勤	30 明			

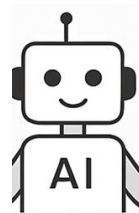
決定シフト確認

シフト希望提出

対象年月: 2025年4月

ユーザーID: 13

日	月	火	水	木	金	土
		1 長日勤	2 休日	3 長日勤	4 休日	5 休日
6 夜勤	7 明	8 休日	9 日勤	10 日勤	11 長日勤	12 休日
13 休日	14 日勤	15 日勤	16 長日勤	17 休日	18 日勤	19 夜勤
20 明	21 休日	22 日勤	23 日勤	24 日勤	25 夜勤	26 明
27 休日	28 長日勤	29 夜勤	30 明			



SDオート



各自の勤務希望

前月の勤務実績

夜勤担当者数や夜勤明け
休日など条件や制約

ナレッジベース

勤務希望にできるだけ沿いつつ、
各種条件や制約を満たす勤務表を作成

急な休みに対する変更案も自動生成

対象年月: 2025年4月

シフト作成

2025-04シフト表

担当者ID	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1																														
2																														
3																														
4																														
5																														
6																														
7																														
8																														
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														
16																														
17																														
18																														
19																														
20																														
21																														
22																														
23																														
24																														
25																														
26																														
27																														
28																														
29																														
30																														
31																														
32																														
33																														
34																														
35																														
36																														
37																														
38																														
日勤人数	16	16	6	6	16	16	16	16	6	6	5	16	16	16	16	16	16	5	6	16	16	16	16	16	6	6	16	16	16	16
夜勤人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
長日人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4												

自動生成された勤務シフト表

活用例5:新人教育



対象マニュアル

医療接客マニュアル

問題と回答入力

ここに問題が表示されます。

回答する

問題を出題

結果

ここに結果が表示されます。

3

4

5

6

回答する

問題を出題

- **2 (不適切)**: 待ち順番の繰り上げを約束する等の**特別扱い・できない約束はしない** (「クレーマーだから繰り上げ」はNG)。

- **4 (不適切)**: 患者の話を**遮ったり否定すると怒りが増す**ため、「否定せずに聴き、丁寧な説明」を行う。

****簡潔な解説 (マニュアル根拠) ****

- マニュアル「苦情・文句への対応」では、対応の柱として

****①複数人に対応**、**②必要な別室へ案内**、**③否定せず聴いて説明**、**④記録**、**⑤特別扱いしない** が挙げられています。**

- 今回の状況 (待合室で大声) では、**周囲への影響を減らすための別室誘導 (3) **と、**エスカレーション防止の複数対応 (1) **が特に重要です。

****学習フィードバック****

- ****良かった点****: 待ち見込みを具体的に伝える (5) / 記録する (6) を選べており、実務上とても有効です。

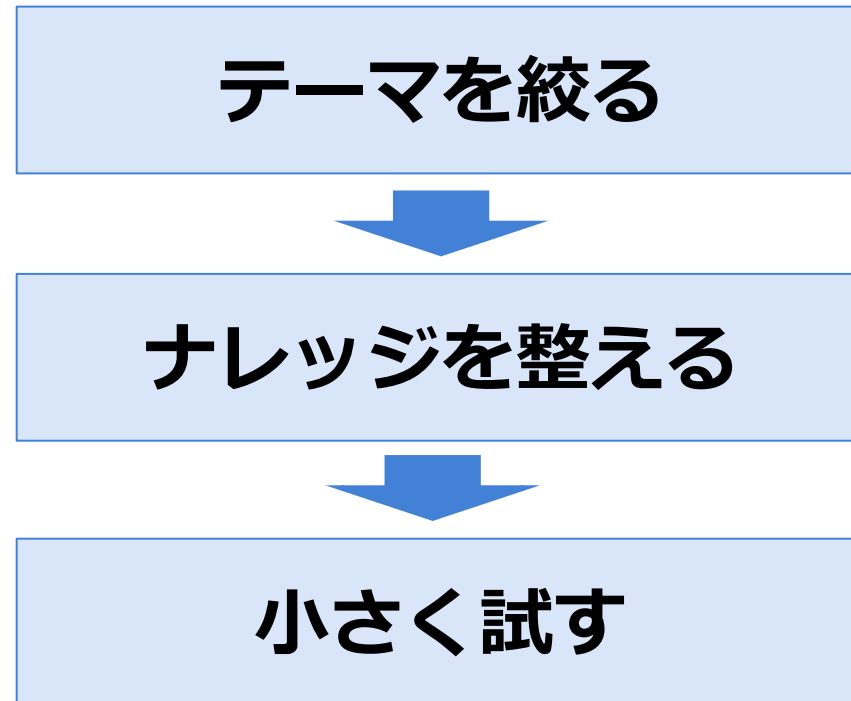
- ****改善点****: 苦情対応は「説明」だけでなく、**体制 (複数人) と環境調整 (別室) **もセットで考えると初期対応の質が上がります。

- ****次回注意点****: その場しのぎでの「順番繰り上げ」などの約束は、後のトラブルや不公平感につながるため避けましょう。

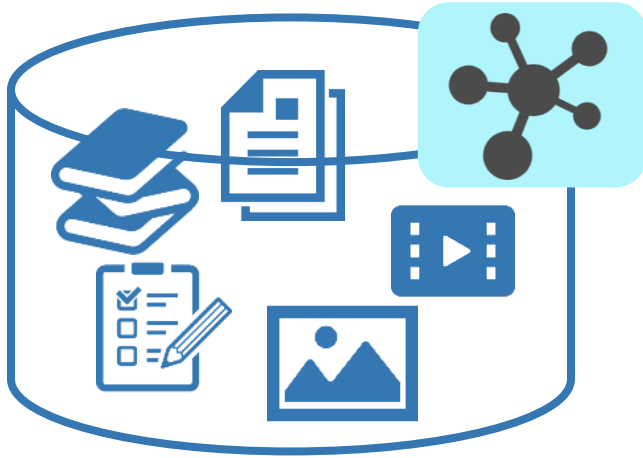
成功のポイント：一つの業務から「小さく始める」



まずは一つの業務改善テーマとして着手するのが定着への近道



「AIに何でもまかせる」のではなく、
現場の知識（ナレッジ）とAIを組み合わせ、人の判断を支える



AI搭載ナレッジベース



伴走支援サービス

ナレッジマネジメントに基づくAI活用ソリューション



企業内に散在するナレッジを、業務で“使える形”に整え、AIと一緒に育てていくための基盤



生成AIを搭載した
ナレッジマネジメント基盤

部門ごとに独自の
ナレッジベースを構築

チケット管理による
業務依頼・進捗管理

業務に組み込める
実務直結AIアプリ

共通ナレッジベースを参照し
AIが業務支援・自動化

CRMやSFA、設備管理など
既存システムと柔軟に連携

ナレッジ×AIを現場に定着させ、業務変革を持続的に支援します

■ ナレッジ×AI 業務実装モデル

- ・ゼロから作らない導入方式
- ・短期間で「貴社仕様」へ最適化
- ・段階的かつ柔軟な導入・拡張性

■ 継続的な伴走支援体制

- ・継続的な運用サポートと現場の実行力向上
- ・属人化防止とリスクの解消
- ・人材育成とノウハウの蓄積

ナレッジ×AIで業務を良くするには…
アクセラテクノロジーまでご相談ください
SolutionDeskはナレッジを活かしたDXを実現します

